

# お蚕を育てて繭を作ってみませんか？

お蚕を飼ってくれる人を募集しています。できあがった繭は回収し、富岡製糸場で行っている糸取りの実演などに活用します。養蚕を体験して世界遺産の富岡製糸場を支えてみませんか。詳しくは、農政課へお問い合わせください。

**申込期間** 4月25日(水)まで  
**受渡日** 5月20日(日)・21日(月)  
 ▷20日(日)=午前11時、午後3時、午後6時  
 ▷21日(月)=午前10時

**受け渡し場所** 市役所議会棟1階ロビー  
 ※各公民館でも受け取れます。希望者は申し込みの際に申し出てください。


**費用** 無料  
**申し込み方法** 近隣の各公民館や市役所にあるチラシに必要事項を記入して提出するか、メールかファクスで申し込んでください。  
 ※チラシは、市ホームページからダウンロードできます。

**申し込み・問い合わせ** 農政課(行政棟2階、〒370-2392(住所不要)、☎内線1271、FAX 62-0357、Eメール sanshiengei@city.tomioka.lg.jp)

## 飼育に必要な「飼育セット」 は無料で提供します。

- 飼育セット内容
  - ▷蚕 100頭
  - ▷ボール族<sup>まぶし</sup>
  - ▷人工飼料
  - ▷飼育容器 (60cm×40cm×8cm)



 3回参加してくれた人には  
記念品を贈呈します。

## 市内の歴史的建造物 (第14回)

### 富岡倉庫 1

上州富岡駅から市役所へ通じる道路の左側に大規模な煉瓦造、石造、さらには木造の建造物が立ち並んでいます。県は、世界遺産に記載された「富岡製糸場と絹産業遺産群」のための世界遺産センターの設置場所として煉瓦造の建物を利用することに決定しました。この背景には、市や市議会の強い要請もあったからでしょう。現在、県では専門家集団の下で世界遺産センターをどのような形態、どのような内容にしていかにして検討を始めたようですが、素晴らしい施設になることを期待しているところです。

さて、過日、必要があつて、ある養成講座に使用する冊子を見ると、その中に富岡倉庫(株)は「組合製糸\*「甘菜社」の倉庫として建築されました。道路からレンガ造りの倉庫が見えます。  
 \*組合製糸―養蚕農家が組合を作つて、品質が一定な生糸を共同で出荷した(原文のまま)という文言がありました。



▲新たな交流拠点として利活用するため、整備工事を進めている富岡倉庫 (3月15日撮影)

のもとに理解していかなければなりません。そこで、富岡倉庫の成り立ちと甘菜社の成り立ちを区別しながら「富岡倉庫Ⅱ甘菜社」ではないことを考えていきたいと思っています。

まず、富岡倉庫は、資本金5万円で1900(明治33)年に創立され、社長は福沢常五郎、役員は坂本治平、森平友次、福沢仁太郎などの地元の有志でした。一方、甘菜社は、1880(明治13)年の創立で、社員は富岡・七日市・一ノ宮・宮崎・下仁田・丹生・菅原・磐戸・砥沢・小幡など3町10力村の養蚕農家620人からなり、社長は古沢小三郎が就任しました。

このように、設立年代・構成メンバーも大きな違いがありました。(富岡製糸場総合研究センター)所長兼富岡製糸場名誉顧問 今井幹夫

絶賛発売中  
です。

## 世界遺産 富岡製糸場

world heritage site tomioka silk mill brand book

「富岡製糸場」と「富岡シルク」の魅力を伝えるブランドブックを制作しました。ぜひ、お買い求めください。

- 販売場所** ▷富岡シルクギャラリー (富岡製糸場東置繭所内)  
 ▷お富ちゃん家
- 内容** ▷tomioka silk mill  
 ▷kaiko  
 ▷tomioka silk brand

**大きさ** A4判  
**ページ数** 144ページ  
**価格** 2,200円(税別)



手に取ってほしい  
手元に置きたい  
行ってみたい  
行ってみよう

## 富岡製糸場 GW まゆクラフトワークショップ

ゴールデンウィーク期間中、繭クラフトのワークショップを開催します。富岡製糸場を訪れた思い出作りに、本物の繭に触れてみませんか。

**日時** 4月28日(土)～5月6日(日)  
 ▷午前9時30分～11時30分  
 ▷午後1時30分～3時30分

**会場** 富岡製糸場東置繭所  
**参加費** 100円

**定員** 8人(30分ごと、事前予約なし)

※カッターナイフなどを使用するため、10歳未満の子どもの場合には保護者の同伴が必要。  
**参加方法** 当日、会場に直接お越しください。



● 問い合わせ 富岡製糸場戦略課 (☎ 64-0005)

## 地域づくりピックス

### 妙義山周辺地域をもっとワクワクさせるプロジェクト始動!

妙義山周辺地域を地域の中で愛され続ける場所としていくために、「妙義山周辺地域と妙義ふるさと美術館活用検討委員会」を立ち上げました。

この委員会では、妙義地域の住民と市若手職員が委員となり、ワークショップなどを通じてさまざまな視点から妙義山周辺地域の魅力創出について話し合いを重ねました。本年度は、ふるさと美術館に焦点を当て、「絵画展示にこだわらない新たな機能の創造」「入館したくなる・しやすい工夫」「実行に向けた推進体制の整備」の三つの提言をまとめ、3月16日に提言書を市長に提出しました。

今後、市では、提言書に基づき、妙義ふるさと美術館活用の具体的な方策を実施しつつ、妙義山周辺地域全体の機能強化について協議を進めていきます。

※提言書は、市ホームページで公開しています。



▲市長に提言書を手渡す中島委員長



▲委員会での話し合いの様子

● 本事業の内容は、地域づくり課(☎内線1253)までお問い合わせください。